

聖徳太子薨去 1400 年記念

近江の聖徳太子魅力発信事業

これまでの歩みと次世代に向けたメッセージ



令和5年12月3日(日)

聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会



近江たいしくん

はじめに

滋賀県には、聖徳太子にまつわる伝承が日本で最も多く残されており、中でも東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町の2市2町からなる東近江地域には、聖徳太子ゆかりの地や伝承が身近なところに数多く残されています。そこで、令和4年に聖徳太子^{こうきよ}薨去1400年の節目の年を迎えるに当たり、東近江地域の市・町、滋賀県、聖徳太子ゆかりの社寺、経済・観光団体が連携し、持続可能な観光振興と地域の活性化を図るため「聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会」を発足し、オープニングから2年間にわたり様々な行事を通じて地域の魅力を発信してきました。この事業により、東近江地域に今も残る聖徳太子の伝承や魅力を多くの方に伝え、楽しんでいただけたものと感じております。

また、不安定な世界情勢の中、聖徳太子により西暦 604 年に制定された十七条憲法の第1条「和を以って^わ貴^もしと^{たつと}為^なす」という日本の和の精神の象徴を今こそ世界に発信するべき機会と捉え事業展開に取り組んできました。

令和5年12月3日の「聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会記念事業」をもって、聖徳太子薨去 1400 年を記念した事業は区切りを迎えますが、これで終わることなく、これをきっかけとして聖徳太子が唱えた和の精神を皆様の一人一人が心に刻み、次世代に継承していただきたいと願っています。あわせて、地域の方々だけでなく、この東近江地域を訪れた方々にも地域の魅力が伝わるよう、近江の聖徳太子の伝承を磨き上げ、今後も魅力ある観光資源として活用していきたいと存じます。

次の節目の年に向け、皆様の変わらぬ御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

令和5年12月3日

聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会
委員長 小 椋 正 清

目 次

1	これまでの歩み・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	次世代に向けたメッセージ・・・・・・・・	7
	(1) 東近江市長、近江八幡市長、日野町長、竜王町長からのメッセージ	
	(2) 聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会幹事長からのメッセージ	
	(3) 聖徳太子ゆかりの 11 社寺からのメッセージ	
3	協賛者様の御紹介・・・・・・・・	21
4	近江の聖徳太子『和』かるたについて・・・・・・・・	22
5	聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会会則・・・・・・・・	23
6	令和 5 年度聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会名簿・・・・・・・・	24

1 これまでの歩み



事業のシンボルとして、
2市2町のイメージカラーの
輪をあしらった懸垂幕を作成
(輪の揮毫は各市町長による)

- 東近江市：紫
- 近江八幡市：赤
- 日野町：ピンク
- 竜王町：緑

令和2年10月26日
聖徳太子1400年悠久の近江
魅力再発見委員会が発足

■公式ロゴマーク



ペンネーム Akihito Shimoiさん 作

■公式キャラクター (近江たいしくん)

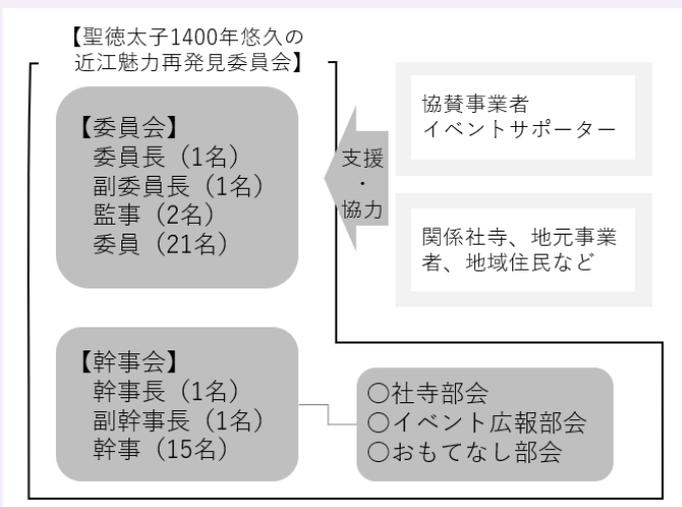


ペンネーム Himawariさん 作

令和3年9月
公式ロゴマーク、
キャラクターを決定

令和2年 →

委員会組織図



令和3年 →

令和3年10月
聖徳太子ゆかりの
11社寺特別御朱印の
授与を開始





正明寺



竜王観音禅寺



太郎坊宮



長光寺

令和3年10月
聖徳太子ゆかりの4社寺で
ライトアップ(レーザーサーチライト・プロジェ
クションマップピング等)、夜間拝観を実施

令和4年2月
東近江地域に広く分布する聖徳
太子関連の伝承等をイラスト等
にまとめた近江聖徳太子絵伝(全
10巻)を作成。あわせて、太郎坊
宮にて完成披露会を実施
(太郎坊宮)



令和4年3月
東近江地域2市2町の観光協会
がボランティアガイドに呼びか
け、「聖徳太子の
文化サポーター
養成講座」を開催



令和4年



令和3年10月
「近江発 聖徳太子の足跡めぐり」
公式ホームページ、パンフレットを作成



公式HP

令和4年1月
聖徳太子バージョンの
新作江州音頭を制作され、
地域の行事などで披露
されました。
(東近江江州音頭普及愛好会)



令和4年3月
近江の聖徳太子魅力発信
事業のテーマソングとし
て「天子の雫」を制作さ
れ、社寺等で奉納演奏を
行っていたいただきました。
(シュガーヒル)





令和4年5月21日
 「近江の聖徳太子魅力発信事業」
 オープニングセレモニー（太郎坊宮、八日市文化芸術会館）、
 聖徳太子ラッピング自動販売機除幕式（太郎坊宮）



令和4年5月22日
 「近江の聖徳太子魅力発信事業」
 オープニングイベントにて、
 ピアニスト川上ミネ氏による演奏や、
 観音正寺岡村住職、名古屋商科大学
 非常勤講師・文学博士筒井 正氏、
 近江八幡観光物産協会職員による
 トークショーを実施（文芸セミナーヨ）



東近江市



近江八幡市



竜王町

令和4年7月～令和5年3月
 東近江地域で開催された各種イベントにて、
 聖徳太子バージョンの江州音頭や創作ミュージカルの
 披露などで近江の聖徳太子をPR

令和4年

令和4年2月22日
 聖徳太子1400年御遠忌
 近江聖徳太子霊跡
 十一社寺結起法要
 （願成就寺）



令和4年5月22日～
 令和5年7月10日
 秘仏御本尊千手観世音菩薩
 特別御開帳（観音正寺）



令和4年6月25日～27日
 秘仏十一面観世音菩薩、
 木ノ中延命地藏大菩薩、
 天下無敵五大明王
 特別御開帳（願成就寺）





正明寺



瓦屋禅寺



長光寺



観音正寺

第1弾 令和4年10月1日～11日
第2弾 令和5年2月20日～3月26日
聖徳太子ゆかり社寺ライトアップ・

夜間拝観



竜王観音禅寺

令和4年10月30日
聖徳太子謎解き
ロゲイニング大会



ロゲイニング

地図をもとに時間内に
チェックポイントを回り、
得点を集めるスポーツ

令和4年12月4日
お火焚大祭
(太郎坊宮)



令和4年10月1日～16日
秘仏御本尊十二面観世音菩薩
特別御開帳(百濟寺)



令和4年11月3日～27日
聖徳太子孝養像掛軸(2幅)
特別公開(長命寺)



令和4年11月26日、27日
御本尊千手子安観世音菩薩
特別御開帳(長光寺)



令和5年7月～11月
聖徳太子ゆかり社寺ライトアップ・夜間拝観



瓦屋禅寺



百濟寺



太郎坊宮



長光寺

令和5年7月～令和5年8月
東近江地域で開催された各種イベントにて、
聖徳太子バージョンの江州音頭や創作ミュージカルの
披露などで近江の聖徳太子をPR



東近江市



竜王町



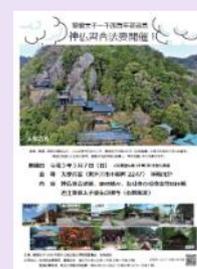
近江八幡市

令和5年7月15日～8月27日
「近江ゆかり 聖徳太子かるた展」
(世界風博物館東近江大風会館)



令和5年

令和5年5月7日
神仏習合法要、
御砂踏み行事
(太郎坊宮)



御砂踏み

各霊場の御本尊様の写し仏などをお祀りし、
持ち帰った境内のお砂を踏みながら礼拝することで、
霊場を巡ったことと同じ功德をいただける行事

令和5年2月23日～3月26日
秘仏御本尊十一面観世音菩薩
特別御開帳(竜王観音禅寺)



令和5年11月
東近江地域にある聖徳太子ゆかりの
スポットを取り上げた
「近江の聖徳太子『和』かるた」
を制作、発行

制作 近江の聖徳太子かるた制作委員会
原画 垣見 真由美氏



令和5年9月23日～11月26日まで
観峰館特別企画展

「近江・聖徳太子伝承社寺の美術
く地域に根付いた文化財たち」にて、
聖徳太子ゆかりの社寺で大切に守り
伝えられてきた
掛け軸や彫刻、工芸
など41点を展示
(観峰館)



観峰館

令和5年8月23日～28日

東近江に生きる聖徳太子の心と工芸展
にて、御砂踏み行事及び和の祈りの
奉納を実施
(名鉄百貨店本店)



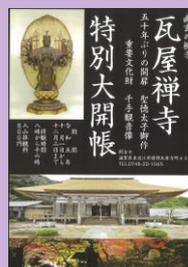
名鉄百貨店

令和6年～

令和5年10月29日～11月26日
秘仏御本尊千手観音立像、
脇侍不動明王像、毘沙門天像
特別御開帳
(正明寺)



令和5年10月1日～12月3日
秘仏御本尊十一面千手眼
観世音菩薩立像特別御開帳
(瓦屋禅寺)



令和5年6月10日～25日
令和5年10月7日～22日
秘仏御本尊十一面千手
観世音菩薩立像特別御開帳
(石馬寺)



2 次世代に向けたメッセージ

聖徳太子薨去 1400 年を記念して 2 年間にわたり実施した今回の事業が関係者の皆さんの協力を得て盛況裏に幕を閉じることができましたことに、委員長として心から感謝を申し上げます。特に、太子にゆかりのある 11 社寺におかれましては、我が国の信仰の原型としてのお寺とお宮さんが一体となって秘仏開帳や工夫を凝らしたイベントを実施していただき、また、地域では江州音頭、ミュージカル、和かるた等によりこの事業を盛り上げていただきました。

記念事業は終わりますが、「以和為貴」の文化を今こそ世界に発信していくべきとの思いと、この歴史資産にさらに磨きをかけ、後世へ引き継ぎ、このことによって東近江地域がさらに発展することを願います。



東近江市長
小原正清

以和為貴

昨年の五月二十一日から始まった、近江の聖徳太子魅力発信事業では、全国に太子の魅力を発信するとともに、十一の社寺を中心に数々の事業が行われました。

近江八幡市内の寺院でも、秘仏の御開帳や寺宝の特別公開、ライトアップなどが行われ、全国各地から多くの方々にお越しいただくことができました。

事業の実施にあたりましては、十一の社寺をはじめとして関係者の皆様に多大なご尽力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

今後、委員会は新たな形となりますが、東近江地域の太子ゆかりの社寺や地域のみなさま、関係機関とも連携を図りつつ、二市二町の行政も力を結集し、次世代にしっかりと太子の想いや魅力を伝えていきたいと思います。



近江八幡市長
小原正理

愛は無条件

この4年間、聖徳太子様のご縁をいただき、多くの皆様のおかげで素晴らしい取り組みを進めることができました。激動の時代だからこそ、皆で力を合わせるからこそ、時代を切り拓く大きな力になると確信しています。

十七条憲法の九は「信是義本（信は是義の本なり）」です。誠実・信頼は義の基本、物事の善悪や成否は信の有無に掛かっており、群臣の間に信があれば何事も成し遂げられると言われていています。

人と人との「信」を本にしなが、歴史にあふれる東近江地域が末長く和にあふれた地域となるよう、ぜひともお力をお貸しくください。ともに頑張ってまいりましょう！



日野町長
堀江和博

信是義本

自治体や宗教、宗派の境界を越え、一丸となって取り組んでまいりました「近江の聖徳太子魅力発信事業」は、聖徳太子とゆかりの深い社寺を中心に、東近江地域の2市2町の各種団体や企業、行政がともに尽力し、多くの人々の記憶に残るすばらしい催しや事業を展開してまいりました。

本事業での観光資源の発信などをきっかけに、全国だけでなく世界の方々へ東近江地域の新たな魅力が伝わったことと思います。

今もなお聖徳太子の伝説と信仰、そして「和」のところが息づく東近江地域。聖徳太子という素敵なお縁で結ばれた私たちは、これからも手を取り合い、次の世代へと文化のバトンを引き継いでまいります。



竜王町長
西田秀治

未来につなぐ近江の聖徳太子文化

聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会幹事長からのメッセージ

近江は、日本で一番濃厚に聖徳太子の文化を伝える国です。歴史上の偉大な人物、聖徳太子。しかし、近江で史実の聖徳太子が活躍した痕跡は、極めて希薄です。近江に伝えられてきた聖徳太子の文化は「縁起・伝承の世界」に彩られた聖徳太子、とってよいでしょう。縁起・伝承とは、史実を基に、歴史上のある時点で、その地域、あるいは社寺を、他と区別化し、活性化させるために「創造」された物語です。

過去に創造された物語が、今を豊かにしています。であれば、今と未来をさらに豊かにする物語を、歴史を踏まえ、今の時点で「創造」しても良いのではないのでしょうか。近江の聖徳太子は、それを望んでいます。これが、近江が経てきた歴史なのですから。



歴史資源開発機構
大沼芳幸

未来創造
with 太子

NPO法人歴史資源開発機構は、琵琶湖を中心に育まれてきた多様な歴史文化遺産を適切に未来に継承するため、これを「資源」として捉え、現代に活かす活動を行うことを通して、滋賀の歴史文化遺産の価値を高め、歴史文化遺産を活かした観光・文化事業を中心とした滋賀らしい産業の育成促進と、地域の魅力向上に寄与することを目的として発足された団体です。

聖徳太子ゆかりの11社寺からのメッセージ

和の心とは、私はたった5文字の言葉「ありがとう」という言葉に表現されていると思います。「ありがとう」という言葉は素直な心から、素直に出てくる言葉です。

私は、地域が主人公となり聖徳太子の伝説の地、東近江地域の人々が100年に一度の機縁に少しでも喜んでいただけることを願いながら日々過ごしてまいりました。そしてこのような私でも地域の魅力を磨き上げるための一助となれましたことに、「ありがとう」という言葉とともに御礼申し上げます。そして聖徳太子薨去1500年目を迎える100年後、東近江地域の未来の人々が和の言葉「ありがとう」を、素直に言い合える地域になっている事を、与えられた命のある限り祈り続けてまいります。

この度の事業において、多くの人々との巡り合わせに心から感謝申し上げます。

合 掌

「魔法の言葉」

ありがとうは 魔法の言葉
 ありがとうは 奇跡を起こす言葉
 ありがとうは 真理の言葉
 ありがとうは 唯一 大宇宙へと響く御言葉
 ありがとうは 神仏が与えてくれた 全てのものへの共通語

山上星太郎

和の言葉「ありがとう」を
 未来へ繋ぎつづけて
 天蓋山 山主 遍導

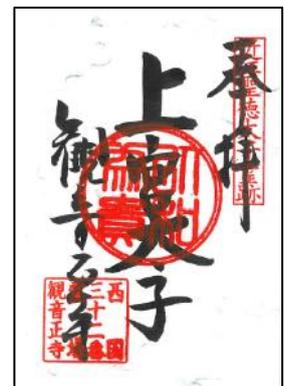


Kannonshoji
観音正寺

おかむら へんどう
住職 岡村 遍導

昔、漁師さんが魚を取り余ったら処分するという無益の殺生を繰り返し、気がつくとき姿が人魚に変わっていた。この漁師さんを成仏させるため聖徳太子さんがお寺を開基したと言われているんです。

<http://kannonshoji.or.jp/>
 所在地：近江八幡市安土町石寺2
 電話：0748-46-2549
 拝観時間：8:00～17:00（無休）



太子の御偉功を永永くお伝えし、
和の郷土を造り続けていきましよう。

百濟寺住職 濱中亮成

聖徳太子は今から千四百年以上も昔に「十七条憲法」を制定され、「話し合いをすることの大切さ」や「議論をすることの大切さ」を説かれております。

太子がご活躍された時代、欧州・中近東では「東ローマ・サーサーン戦争」、ペストの流行などにより交易は衰退、東アジアでは度重なる易姓革命により大混乱が起こるなど、現代同様に世界的な混乱期でもありました。しかしながら、人々は多くの困難を克服し、現代に文明や文化を継承しており、今後も和の精神を以って人類の叡智を継承できるに違いありません。

「近江の聖徳太子魅力発信事業」は、太子にゆかりのある地域や社寺だけでなく、太子の遺徳を再発見し、将来に伝えていく素晴らしい機会でありました。今後も、この文化が途絶えることなく継承されていくことを願っております。



Hyakusaiji
百濟寺

はまなか りょうじょう
住職 濱中 亮成

聖徳太子さんが、猿が果物をお供えしていた杉の木を聖木だと感じ、根の生えたままの状態で「楠木観音」を彫られたことがこの寺のはじまりと言われています。

<http://www.hyakusaiji.jp/>
所在地：東近江市百濟寺町323
電話：0749-46-1036
拝観時間：8:30～17:00(受付は16:30迄)



薨去され千四百年の節目に秘仏御本尊様(十一面千手千眼観世音菩薩)の御開帳を五十年ぶりに行わせて頂いた。近江の聖徳太子伝承伝説は数多く存在するが、その伝わってきた事柄を後世に残すには磨き直しが必要である。

長い歴史に埋もれてしまい忘れて去られるものも有れば、更なる輝きを放つものもある。

薨去千四百年となるこの時に我々が太子の代わりとなり導いたものは果たしてどれ程のものだったのか…因果という言葉がある。因縁により集い各々が花を咲かせて後世への種を蒔いてきたつもりである。自ずと結果として百年後、二百年後に其れが分かるのだろう。

御開帳を通してご縁を結ばれた参拝者が御本尊さまの如く多くの救いの手を差し伸べてくれることを祈り、太子が繋いでくださったご縁が念珠の如くひとつの円になってくれることを切に祈念し、薨去千四百年にてご縁を頂いた方々に感謝申し上げます。

太子が繋ぐ
御縁

瓦屋禅寺
藤澤弘昭



Kawarayajenji
瓦屋禅寺

ふじさわ こうしょう
住職 藤澤 弘昭

聖徳太子さんが大阪の四天王寺を建てる際に、この山の土を使って瓦を106,000枚以上焼いたことで、瓦屋禅寺の歴史がはじまったと言われています。

<http://www.kawarayaji.com/>
所在地：東近江市建部瓦屋寺町436
電話：0748-22-1065
拝観時間：9:00～16:00



伝え残す
認め合う心と姿勢

石馬寺住職 西史観

聖徳太子 1400 年遠忌の節目の年に、当山の住職という法縁を賜り、関係社寺、地域の皆様方にご協力をいただきながら六月と十月の二度、開帳を行えたことは大変有難い御縁であったと感じております。当山におきましては、住職、寺庭、檀信徒が心を一つにして「共に」という姿勢で同じグリーンユニフォーム（聖徳太子直筆の文字「石馬寺」をデザインに入れたオリジナルボランティアTシャツ）を着て、次の世代に残すため、未来の菩提寺のために力を合わせて走り続けたことは、かけがえのない人生の宝物となったものと信じております。今、宗教への関心が薄くなり、宗教離れが囁かれる現代において、太子信仰にあやかりながら、それを御縁として皆さまと成就できたことは当山第十五世として大変嬉しく、誇りに思います。

十月の閉扉法要のご挨拶の中でお伝えしたメッセージになりますが、「和を以て貴しと為す」、この一言に尽きると思っております。色々な人がいて、個性がそれぞれあり、人によって色がある、それを認め合うことの大切さ、私にとって大変深い気づきとなりました。

最後に、御縁をいただきました全ての方々に、心より感謝申し上げます。
合 掌



Ishibaji
石馬寺

にし しかん
住職 西 史観



聖徳太子さんがこの山の麓まで来たら、乗ってきた馬が動こうとしないので木につないで山を登ると、ただならぬ靈異を感じ礼拝された。戻ってくるとその馬が石に変わり池に沈んでいたため、ここに寺を建てたと言われています。

<http://ishibaji.jp/>

所在地：東近江市五個荘石馬寺町823

電話：0748-48-4823

拝観時間：9:00～16:00 月曜休観



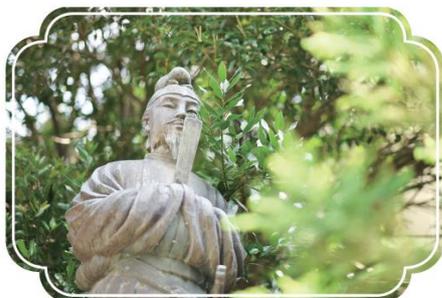
当社境内には、等身大の太子像（銅像）が威厳のあるお顔で参拝者を迎えておられます。参拝者は、ここに太子像があるのが不思議そうで「何故、ここに太子像があるのか。神社や八日市と太子はどのような関係があるのか。」と問われます。

その際、「太子が大阪に四天王寺を建立された時、その瓦をこの近くで焼かれ、大勢の人が集まって来たので、ここで市場を開くことを勧められ、その発展を祈り守護神として自ら事代主神（えびす神）の神像を刻んで一祠段に祀られました。これがこの市神神社の始まりで、最初に開かれた日が3月8日であったので「八日市」というのです。太子は商いの道、公益の道を教えられた職業の神として崇められ、太子講も盛んな地域です。

今日、このように発展した八日市が太子によって誕生したと伝えられるので、さらなる繁栄を祈り、太子の銅像を建立されたのです。」と答えています。

今後も、八日市と聖徳太子のつながりを参拝者に伝えていきます。

八日市と聖徳太子と
市神神社 宮司 中嶋 玉城



Ichigamijinja
市神神社 開奉
なかじま たまき
宮司 中嶋 玉城



聖徳太子さんが瓦屋禅寺で大阪の四天王寺の瓦を焼くために土を掘り、できた溜池に人が集まってきたので市場を開くことを教えた。その時に彫られたえびすさんが市神神社の御神体です。

<https://www.higashiommi.net/media/miru/ichigami>
所在地：東近江市八日市本町15-4
電話：0748-22-0819
境内の立ち入りは終日可。
ただし、一部は宮司在社時のみ可。



聖徳太子と共に生きる

願成就寺
小西智俊

毎日、耳目を疑いたくなるような世界の悲惨な現況。悪夢のような現地の人々の生活の声は、「食べるものと寝る場所と朝、目が覚めて命のあることを知るだけの毎日の繰り返し」という言葉を聞いて胸の張り裂ける思いがします。ただ、私たちができることは聖徳太子の願いである「和をもって、貴しとなす」というご精神をただひたすらに訴え続ける宗教者としての使命を貫くことと信じています。

太子の本願は「^{せけんこけ}世間虚仮 ^{ゆいぶつぜしん}唯仏是信」であり、その乱れた仮の姿（虚仮）を正すことこそ真の仏国土の建設（是信）であると、国づくりの基本設計であるとして「十七条憲法」（604年）が誕生したのです。

今回の霊場発足におきましても、朱印の印判は「第一条」の「和をもって貴しとなす」が十一社寺の共通印判となり、それぞれの社寺で特色のある印形が押印されるという楽しみのある霊場になっています。



Ganjojuji
願成就寺

こにし ちしゆん
住職 小西 智俊



仏教の布教の為、近江に48カ寺建立の誓願をたてられた聖徳太子さんが、最後にこの寺を建て誓願が成就したと言われています。その折にこの地域に数珠作りを伝授したそうです。

https://www.biwako-visitors.jp/spot/detail/519/
所在地：近江八幡市小船木町73-1
電話：0748-33-4367
拝観時間：10:00～16:00



報恩謝徳

竜王観音禅寺

吉田叡禮

聖徳太子は、調和と秩序ある社会を築くため、多くの声に耳を傾け、慈しみと智慧を振るってこの国の基礎を築きました。太子にまつわる信仰や伝説は、富や健康を祈るご利益や寓話的偉人伝とは本質的に異なり、時空を超えて太子の心を自身に写し、他者との関わり方や社会構造に活かせるという先人からのメッセージです。

先人たちは、神仏を敬い、人の道を大切にしてきました。親には孝行し、人には礼を尽くし、信義と思いやりの心を持ち、自然を敬い、環境と調和し、恵みに感謝し、恩に報いることを美德とし、恩に背くことを恥とし、小さなことにも誠意を込めて最善を尽くし、自己を陶冶し、正直に、徳を積み、命を尊び、自己と他者と環境とが円かに共存しつづける道を拓いてきました。

一人ひとりが静かに自己をみつめ、声なき声を聴き、見えないものを感じ、自他の尊厳に目覚め、互いに感謝し、利他の精神に生きるなら、必ずや穏やかな社会が実現することでしょう。



Ryuokannonzenji
竜王観音禅寺
よしだ えいれい
住職 吉田 叡禮

このお寺の御本尊さまは、聖徳太子さんが一刀三礼で彫られた十一面観音像です。戦の兵火で全山が焼け落ちて、そのたびにこの観音さまだけは焼け残り、それ以来、ご利益があると大切にされてきました。

<http://www.kannonzenji.or.jp/>
所在地：蒲生郡竜王町小口848
電話：0748-58-0217
拝観時間：9:00～17:00



聖徳太子発信の今後について

正明寺 上見有二

今回、近江の聖徳太子魅力発信事業に、日野町の社寺を代表して参画させて頂き、日ごろ交流の少ない社寺との関係も深まり大変意義のある事業参画であった事に感謝と御礼を申し上げます。

この事業が継続し、更に発展、永続していく為には、定期、不定期に当地域からの発信が不可欠であり、そのための施策としては行政の後押しが欠かせないものとなります、社寺の立場としては、これまで培ってきた交流の内容を踏まえた定期的な行事の実施を継続していくことに加え、現在の社寺部会を、更に発展飛躍させる為の方策としての拡大等も検討を要するものと考えます。

また、行政と一体となって聖徳太子フェスティバルのような企画を立て、県下の音楽家、芸術家を中心として様々な分野を集合した一大イベントとして、毎年開催する等の大胆な展開も考えられます。

次世代への継承に向けて様々な提言をし、地元企業や協力者と共に進めていければと思います。



Shomyoji
正明寺

住職 うえみ ゆうじ 上見 有二

推古天皇の勅命により、聖徳太子さんが近江に48の社寺を建てられたと言われていますが、正明寺もその時に創建された社寺のひとつです。

<https://www.shomyoji.org/>
所在地：蒲生郡日野町松尾560
電話：0748-52-0227
拝観時間：9:30～16:30



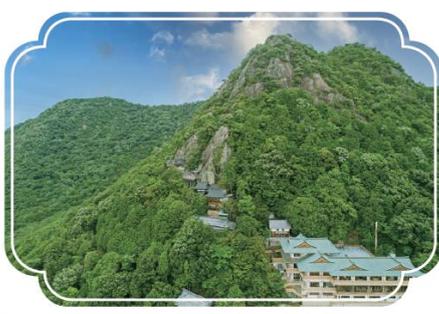
太子の心 変わらぬ祈りを

太郎坊宮 奥田素之

委員会参加のお声をかけていただいた時、思いの他この地域に多くの史跡や伝承があり、聖徳太子様の理想が人々の心の中に根付いていることを知りました。そしてこの事実を地域の皆さんと共に思い起こし、価値ある観光資源とするのがこの事業なのだと理解し、喜んで参加をさせていただきました。

以来、多くの史跡や伝承を発掘していただき、残念ながらコロナ禍と重なってしまいましたが、近江聖徳太子霊蹟御朱印をはじめ、盛りだくさんのイベントを展開していただきました。

この大切な成果をしっかりと固め成して、皆で次の薨去千五百年にお伝えします。



Tarobogu
太郎坊宮
おくだ もとゆき
宮司 奥田 素之



聖徳太子さんが瓦屋禅寺さんで瓦を作る良い場所を探しているときに、このあたりで尊い気配を感じて、山のてっぺんで神様を祀られたのが太郎坊宮のはじまりだと言われています。

<http://www.tarobo.sakura.ne.jp/>
所在地：東近江市小脇町2247
電話：0748-23-1341
拝観時間：9:30～16:30



長命寺では開祖と仰ぐ太子様を顕彰するため、滋賀県立安土城考古博物館に寄託中の太子様の掛軸二幅の修理を令和2年に発願しました。大津市の装演師・坂田墨珠堂様に修理を依頼し、学芸員の方々のご協力も賜り、損傷著しい装丁を新調し、元の絵を生かした保存修理を令和4年4月成満いたしました。「近江の聖徳太子魅力発信事業」の一環として、同年11月に、本堂内陣にて2幅の特別拝観を近江八幡観光ボランティアガイド協会のご協力で行いましたところ、2,000人超のご拝観を賜りました。

また、安土城考古博物館様においても令和5年4月22日から5月19日にかけて特別展示の機会を賜り、同年10月1日～11月26日には観峰館様での特別企画展に1幅を出陳させていただきました。

太子様に関わる文化財の修理や、各種事業の中で地域の皆様とのご縁を賜ったことに心より感謝申し上げます。当地域に遺る太子様の伝承が語り継がれていく礎を本委員会が築かれたと確信するとともに、今後も東近江各地域を繋ぐ紐帯として太子様がお出ましになることを祈念いたします。

未来へ継ぐ初らぎの心

長命寺 武内隆韶



Chomeiji
長命寺

たけうち りゅうしょう
住職 武内 隆韶

2000年ほど前に武内宿禰さんがこの山で長寿を祈り300年の齢を得られた。後に、聖徳太子さんがこの地に来た際に武内宿禰さんのお告げを感じ、観音さまを彫ったのが長命寺のはじまりとされています。

<https://www.biwako-visitors.jp/spot/detail/3663/>
所在地：近江八幡市長命寺町157
電話：0748-33-0031
拝観時間：8:00～17:00(入山は16:40まで)



太子の教えを永遠に

長光寺 金子弘信

聖徳太子の御遠忌を基に、近江魅力再発見委員会の立ち上げを軸に太子の業績と近江伝説の再発見となり、数々の寺宝・史跡の発見、2市2町にまたがる食文化・地域振興、更には各寺院での秘仏・御本尊の御開帳、太子朱印巡り、ライトアップ、県外展示会と太子の「和」の精神が大きな広がりとなった2年間でした。太子の深い思い（国家観・宗教観）を垣間見ることも出来ました。

一に曰く、和を以て貴しとし、さからうことなきを宗とせよ。……

二に曰く、篤く三宝を敬え。三宝とは、仏と法と僧なり。すなわち四生の終歸、……

太子の「以和為貴」の精神が世界平和につながる様言い伝えることこそ、私達の役目であることを深く感じました。

太子朱印巡りを通じて、今後も参拝者との結びつきが深まることを願っています。



Chokoji
長光寺

かねこ こうしん
住職 金子 弘信

聖徳太子さんの妃が難産に苦しんでいた時に、拜むと仏の遣いの童子が現れ安産されました。童子が去った方向にあった霊木で、観音様を彫られたのが長光寺のはじまりとされているんです。

<https://cyokoji.com/>
所在地：近江八幡市長光寺町694
電話：0748-37-7743
拝観時間：9:00～17:00



3 協賛者様の御紹介

(順不同、敬称略)

株式会社びわこフード、株式会社カワサキ、
一般財団法人愛の田園振興公社、株式会社 Wallaby、
湖香六根、料理 魚石、株式会社クレフィール湖東、
日野薬品工業株式会社、正栄堂、株式会社よしつね、
一般社団法人奥永源寺溪流の里、納屋孫、玄兎堂、
竜王町観光協会、株式会社みらいパーク竜王、
株式会社青地ライフクリエイト、日野観光協会、
五個荘観光センター、村井酒店、Café Sugi、
ボディメンテナンスサロン ユーラシィー、
万葉ロマンの里乙畔（おとくり）、コンフォートイン八日市、
布引焼窯元、株式会社岡喜商店、永源寺温泉八風の湯、
森島商事株式会社、NPO 法人文華舎、
公益財団法人日本習字教育財団観峰館、お仏壇のにっこう、
聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会社寺部会

皆様の御協賛を賜り、より充実した発信を行うことができました。

ここに改めて感謝の意を表します。

4 近江の聖徳太子『和』かるたについて

近江には、聖徳太子の伝承が日本で一番多く残されています。その中でも東近江地域2市2町には、「太子が乗ってきた馬が石になった」という石馬寺の伝承や「太子がご飯を食べたお箸を刺したものが大木になった」というハナノキ伝説など、聖徳太子ゆかりの地や物語が身近なところに数多く伝わっています。

そこで、聖徳太子薨去1400年悠久の近江魅力再発見委員会は、今回の事業をきっかけに次世代に近江の聖徳太子伝承を引き継ぐため、太子の伝承や社寺、スポットなどを紹介する「いろはかるた」を制作することとしました。

かるたの制作は、観音正寺の岡村遍導住職を委員長とするかるた制作委員会が担い、制作期間はおよそ1年を要しました。

完成したかるたは、聖徳太子の和の精神の大切さを伝えたいとの想いを込めて、「近江の聖徳太子『和』かるた」と名付けました。取り札、上ふたのデザインは垣見真由美氏によるもので、親しみのあるデザインに仕上げられています。

また、令和5年12月3日の記念事業の中で、2市2町の子どもたちによるジャンボかるた大会を開催し、かるたのお披露目となりました。

近江の聖徳太子『和』かるたは、東近江地域2市2町のすべての小学校と図書館に寄贈いたします。次代を担う子どもたちが、楽しみながら地域の歴史や伝承に触れていただけることを願っています。



5 聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会会則

(目的)

第1条 聖徳太子が薨去され 1400 年を迎える令和 4 年（2022 年）に向けて、聖徳太子ゆかりの社寺等、地方自治体、観光協会等が連携して様々なイベントによる魅力情報を発信し、地域の歴史文化資源の活用する取組を推進することで、持続可能な観光振興と地域の活性化を図ることを目的に聖徳太子 1400 年悠久の近江魅力再発見委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、前条の目的達成のため、聖徳太子に関するイベント等の効果的な実施方法及び連携策について協議する。

2 委員会は、前項に定めるもののほか、委員会の目的達成に必要な事項について、広く協議することができるものとする。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長、監事及び委員をもって組織する。

2 委員長は、委員の中から互選によって定める。

3 副委員長及び監事は、委員長が委員の中から指名する。

4 委員は、別紙に掲げる社寺等、地方自治体、観光協会等から選出された者をもって充てる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、第 12 条の規定に基づき委員会の解散の日までとする。ただし特別な理由があるときは、その限りではない。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 委員長が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(幹事会)

第7条 委員会の下に、専門的事項を検討するため、幹事会を置くことができる。

2 幹事会は幹事長、副幹事長及び幹事で構成し、委員及び社寺、地方自治体、観光協会等から選出された者から委員長が指名する。

3 幹事長は、幹事会を統括し、審議した結果を委員会に報告するものとする。

4 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、その職務を代理する。

(事務局)

第8条 委員会の事務局は、東近江市観光物産課内に置く。

(経費等)

第9条 委員会の経費等は、補助金、協賛金、その他の収入をもって充てる。

2 委員会の会計に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(会計年度)

第10条 委員会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、委員会設立年度は、委員会設立の日始まり、直近の年の3月31日までとする。

(会計監査)

第11条 監事は、委員会の決算について監査し、会議に報告しなければならない。

(解散)

第12条 委員会は、その目的が達成されたとき又は委員会の議決により解散する。

(その他)

第13条 この会則に定めるもののほか、この会の会務に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この会則は、令和 2 年 10 月 26 日から施行する。

6 令和5年度 聖徳太子1400年悠久の近江魅力再発見委員会名簿

(順不同、敬称略)

所 属	役 職	氏 名
東近江市	委員長	小椋 正清
近江八幡市	委員	小西 理
日野町	委員	堀江 和博
竜王町	委員	西田 秀治
NPO 法人歴史資源開発機構	幹事長	大沼 芳幸
西国三十二番札所 観音正寺	副委員長	岡村 遍導
近江西国第十八番霊場 瓦屋禅寺	委員	藤澤 弘昭
西国三十一番札所 長命寺	委員	武内 隆韶
湖東三山釈迦山 百済寺	委員	濱中 亮成
太郎坊宮	委員	奥田 素之
滋賀県観光振興局	委員	上田 重和
滋賀県立安土城考古博物館	委員	青木 幸一
びわこビズターズビューロー	委員	川戸 良幸
東近江観光振興協議会	委員	小椋 正清
滋賀県神社庁 八日市支部	委員	中嶋 玉城
八日市商工会議所	委員	二橋 省之
近江八幡商工会議所	委員	尾賀 康裕
東近江市商工会	委員	鈴村 重史
安土町商工会	委員	高木 敏弘
日野町商工会	委員	松井 利夫
竜王町商工会	委員	松瀬 忠幸
東近江市観光協会	委員	喜多 良道
近江八幡観光物産協会	委員	森嶋 篤雄
日野観光協会	監事	中村幸太郎
竜王町観光協会	監事	若井 富嗣



近江たいしくん